

令和5年度 第3回 JSSR 国際委員会審議事項

日時：令和5年6月6日（火）20:00-21:00

場所：Zoom

出席：（担当理事）伊東学（委員長）酒井大輔

（委員）北村和也, 菅野晴夫, 加藤壯, 玉井孝司, 宮城正行, 高橋真治, 安藤圭, 宮崎正志, 重松英樹

（アドバイザー）松山幸弘, 中村雅也, （理事長）波呂浩孝

欠席：高畑雅彦, 名越慈人

(敬称略)

1. 審議事項

1) KSSS 2023 出席報告

（北村）国際色豊かで、発表も全て英語になっている。若手の参加も積極的で JSSR EPA の運営の参考になった。

（波呂、松山、伊東）JSSR の英語化を目指したい。あり方委員会、理事会に働きかける方針とする。

一方で急激な英語化の変化に対して投稿数の減少なども危惧され、具体的には午前と午後を日本語・英語に分けること、主題やシンポを英語、一般演題を日本語可とする、など、比率や配置について各委員から様々な意見が述べられた。

2) NASSi 状況

（玉井）NASSi のプログラム策定が順調に進んでいる。NASSi と JSSR と ArabSpine の combined session となっており、1時間半の予定。座長を Jeff Wang と玉井委員が務め、北村委員にもご登壇いただく。

3) Eurospine からの Collaboration 提案

JSSR に来ていただいた Dr Charles から波呂先生に書面があり、今後の連携を深めたいとの内容であった。

（伊東）Eurospine の executive board で決定された方針であり、総会での president 同士の招待講演や、共同シンポジウム、トラベリングフェローの交換派遣などが案として挙がっている。

今後は MOU の締結により、先方の予算規模を確認し、派遣人数の決定など具体的な検討に入る。

4) JSSR2024 国際委員会準備、2024 TWSS/KSSS トラベリングフェロー受け入れについて

（酒井）JSSR の国際ゲストの予算は概ね確保できた。

JSSR2023 と同様の流れとなるが、今年の実省を踏まえて JSSR2024 に向けて早めに動き出したい。MOU 締結済みであるので手続きが確実なものになる。TWSS、KSSS のトラベリングフェローについては、JSSR 総会前後の 1 週ずつ 2 週としたが、学会前は準備や症例の制限など制約もあるので、総会後の 2 週で見学していただくのが良さそうである。先方のご意向を確認する。

5) 2023 年度 ATF 選出について

高橋委員より、現状の報告。2023ATF は順次派遣予定。2024ATF 募集も開始する。9 月頃にオープンとし、1 ヶ月くらい受付後、年末前に selection を行う。

6) その他の連絡

(伊東) 各国で女性脊椎外科医の活躍に関する議論が進んでいる。Global Spine Congress でも Women in Spine surgery のセッションが盛り上がっていた JSSR でも同様のセッションを持ったり、海外からの招聘ゲストに女性を含めるなどの活動をしていきたい。

以上